

景気動向調査 令和5年11月分（令和5年11月末現在）

大分県中小企業団体中央会では、県内中小企業の現況、課題を迅速にとらえ、これらの情報を行政等へ提供するとともに、本会事業の活用に資することを目的に、中小企業団体情報連絡員事業を実施しています。

この事業では、県内の主要業種46組合に「情報連絡員」を設置し、毎月の景況調査報告(前年同月比)を収集しています。

【11月の景況】

11月のDIは、9指標のうち、1指標が好転、8指標が悪化という結果となった。

主要3指標は、いずれも悪化。先月と比較して、売上高DIは15ポイント悪化、収益状況DIが9ポイント悪化、景況感DIが6.5ポイント悪化という状況となっている。

なお、景況感DIは令和5年6月以降、6カ月連続で悪化傾向にある。

調査員からは、引き続き人手不足による競争力低下、賃上げへの対応に関する意見が寄せられている。



景況感DI値

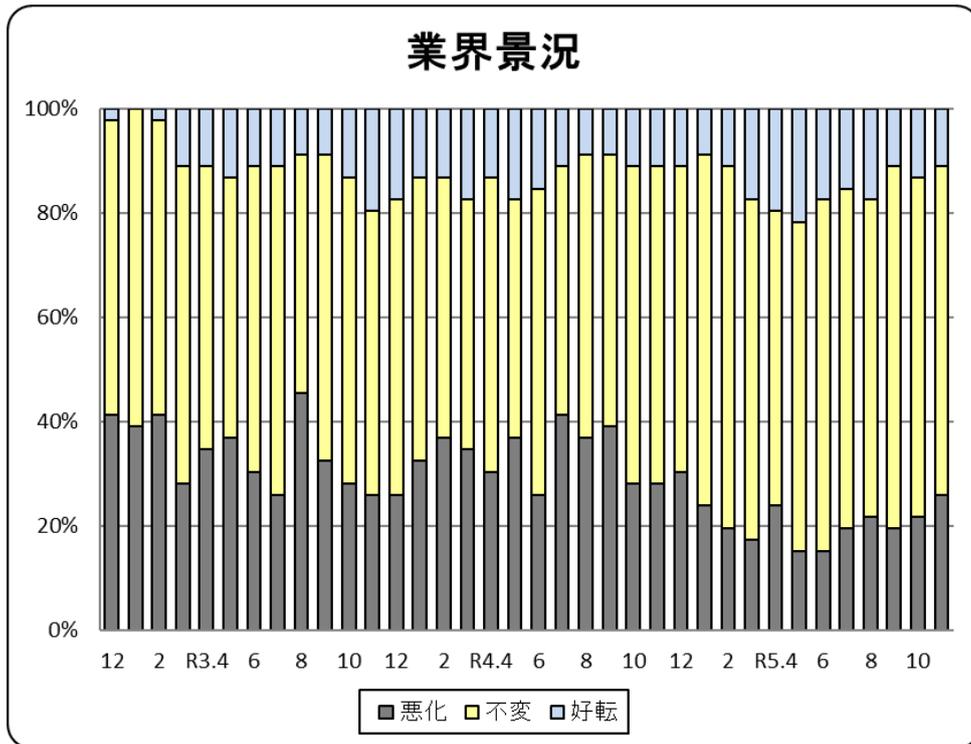


参考：日本銀行「企業短期経済観測調査」（大分支店調査分）

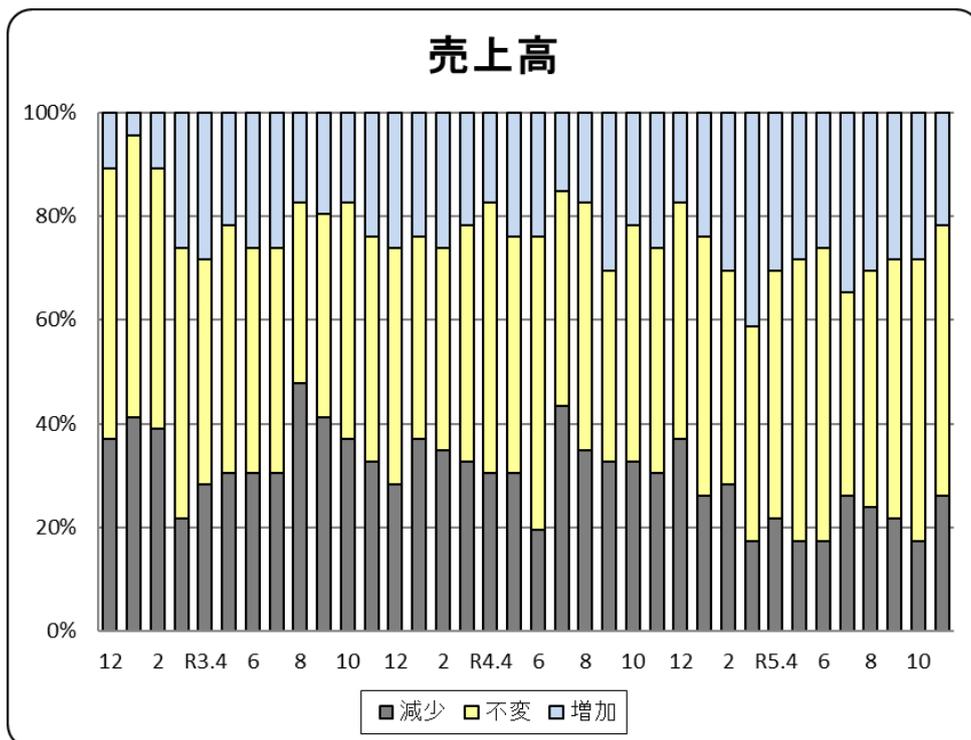
【主な調査項目での動向】

主要な調査項目を見ていくと、景況感DIは、 $\Delta 15.2$ ポイントで前月から6.5ポイント悪化。売上高DI値は、 $\Delta 4$ ポイントで前月より15ポイント減少。収益状況DI値は、 $\Delta 20$ ポイントで前月から9ポイント悪化。雇用人員DI値は、 $\Delta 20$ ポイントで前月より3ポイント減少という結果となった。

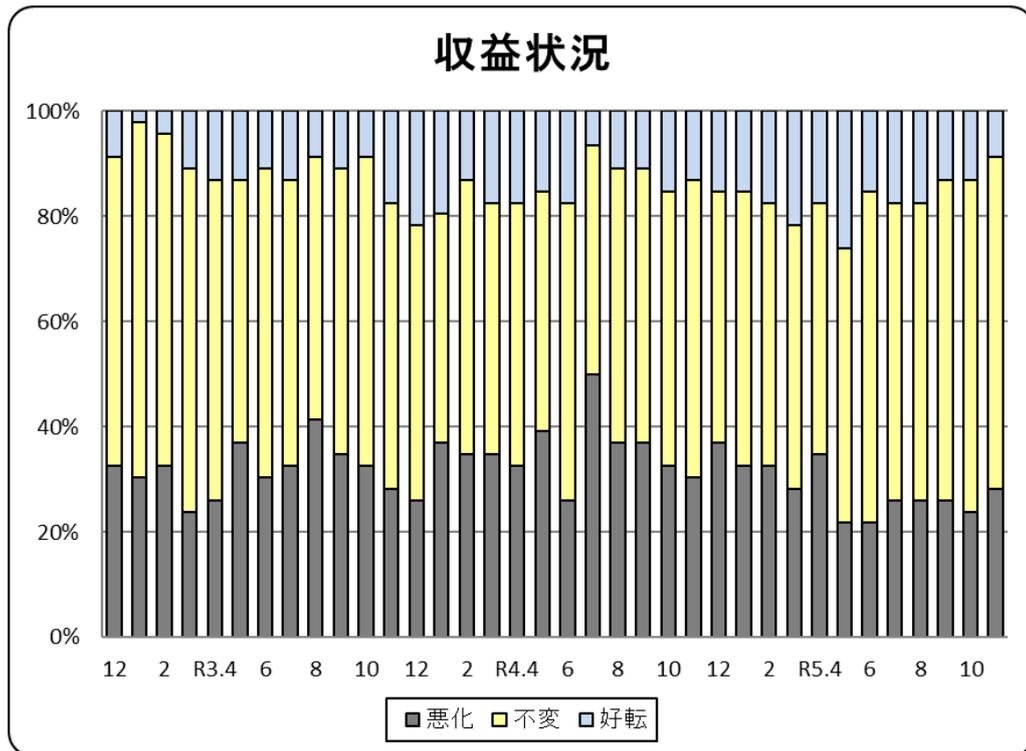
景況の動向は、好転は5組合、悪化は12組合であった。DI値は $\Delta 15.2$ ポイントで前月から6.5ポイント悪化。割合で見ると、好転11%、不変63%、悪化26%であった。なお、製造業の景況感DI値は $\Delta 24$ ポイント、非製造業の景況感DI値は $\Delta 10$ ポイントであった。



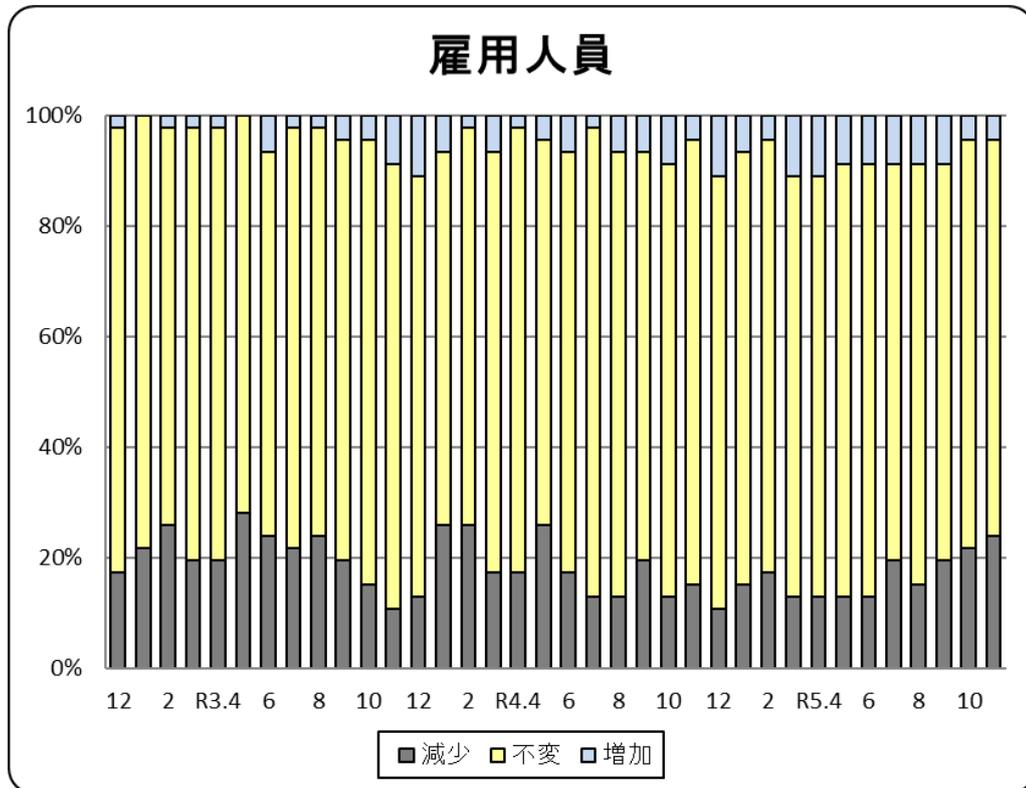
売上高の動向は、増加は10組合、減少は12組合であり、DI値は $\Delta 4$ ポイントで前月から15ポイント減少。割合で見ると、増加22%、不変52%、減少26%であった。



収益状況の動向は、好転した組合は4組合、悪化と回答した組合は13組合であった。DI値は△20ポイントで前月から9ポイント悪化。割合で見ると、好転9%、不変63%、悪化28%であった。



雇用人員の動向は、増加は2組合、減少は11組合であった。DI値は△20ポイントと先月より3ポイント減少。割合で見ると、増加4%、不変72%、減少24%であった。なお、製造業の雇用人員 DI 値は△24ポイント、非製造業の雇用人員 DI 値は△17ポイントであった。



(集計方法)

※DI 値(前年同月比)=[(増加・好転組合数-減少・悪化組合数)÷調査対象組合]×100

(業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成します。)

※小数点以下四捨五入

主要3指標の前年同月比DI推移【大分県】

